

ティ ー チ ャ ー ズ ガ イ ド



「大好きなアーティストから考える あなたと銀行のかかわり」は、
 金融・経済の本質に触れ、銀行の働きを理解するだけでなく、
 思考力・判断力・表現力を育むことをねらいとした
 アクティブ・ラーニングを組み込んだ教育プログラムです。

現場の先生からいただいたご意見をもとに、
 全国銀行協会ならではの教育的資源・具体的な事例を活用して開発しました。

学びを深める2つのしかけ

しかけ1

わかりやすい映像教材と生徒に身近な事例で、
 興味・関心を高めます。



しかけ2

アクティブ・ラーニングで思考力・判断力・表現力を
 を育みます。



学習内容

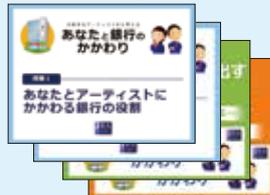
銀行の三大業務
 金融のしくみ
 株式のしくみ

提供教材一覧

- ①ティチャーズガイド ②生徒用テキストブック



- ③進行スライド



- ④ワークシート



- ⑤黒板掲示用カード



CD-ROMに収録

- ⑥映像教材「動画で学ぶ 銀行の仕事」

主人公と銀行員のやりとりを通して、
 「銀行の三大業務」について理解する
 ことができる映像教材です。
 業務内容だけでなく、働く人々の思い
 や工夫にも触れることができる構成に
 なっています。



映像内容

全編：8分17秒
 預金：2分21秒
 貸出：2分26秒
 為替：1分51秒

▼ 以下のようにご利用いただけます

- 「銀行の三大業務」の説明に
- 興味・関心を高める単元の導入に

- ⑦映像教材「信用を支える金融のしくみ」

NEW

銀行が、個人や企業へ融資するかし
 ないかを判断する「信用」について
 理解することができる映像教材です。
 ロールプレイングへの導入とまとめに
 使える構成になっています。



映像内容

①本編：3分33秒
 ②解説編：1分47秒

▼ 以下のようにご利用いただけます

- ワークショップ2で「信用」の説明に
- ロールプレイングのスムーズな導入に

プログラムの構成

プログラムは1授業から実施が可能です。
目的に合わせて自由に組み合わせでご活用ください。

※ページ下部「授業アレンジ例」をご参考にご覧ください。



ベーシックプログラム

金融・経済単元への興味・関心を高め、
学習内容の理解を深める授業です。

授業 1

▶▶▶ P.3~

金融のしくみ

「あなたとアーティストにかかわる
銀行の役割」 [50分]

お金の流れの「シミュレーション」を行い
銀行の役割・三大業務を理解します！

▼教科書との関連

- ・銀行の三大業務
- ・銀行のしくみ
- ・金融のしくみ

▼学習のねらい

「金融」の基本的な内容を
理解する。

授業 2

▶▶▶ P.11~

直接金融・間接金融

「直接金融と間接金融のしくみ」 [50分]

企業側・投資側、両方の視点から
資金調達について
「ディスカッション」を行います！

▼教科書との関連

- ・銀行の三大業務(貸出)
- ・金融のしくみ
- ・株式のしくみ

▼学習のねらい

「直接金融・間接金融」の
基本を理解する。

アドバンスプログラム

(スキル育成型)

多面的・多角的な思考力の育成をねらいとし、
金融について発展的に理解を深める授業です。

ワークショップ 1

▶▶▶ P.19~

豊かな社会をつくる資金仲介のはたらき

「あなたの預金が生み出す社会の発展
～お金の流れが与える影響を考える～」 [50分]

具体的事例を用いて、銀行が社会に与える
影響について「ディスカッション」を行います！

▼教科書との関連

- ・経済のしくみ
- ・金融のしくみ

▼学習のねらい

お金の流れを確認し、
銀行の資金仲介が、社会に
どんな影響を与えるかを理解する。

ワークショップ 2

▶▶▶ P.25~

信用が支える金融のしくみ

「融資における信用と銀行の役割
～企業と銀行の立場で考える～」 [50分]

企業担当者・銀行融資担当者になって
融資の「ロールプレイング」を行います！

▼教科書との関連

- ・金融のしくみ
- ・銀行の三大業務(貸出)
- ・間接金融

▼学習のねらい

融資の審査における、
信用の重要性について理解する。

授業アレンジ例 (自由に組み合わせでご活用ください。)

教科単元の
内容をしっかり
おさえたい！

授業
1

+

授業
2

社会における
金融の役割を
理解させたい！

授業
1

+

ワーク
ショップ
1

銀行の
三大業務について
理解を深めたい！

授業
1

+

ワーク
ショップ
2

企業の
資金調達について
議論させたい！

授業
2

+

ワーク
ショップ
2

■ 学習のねらい

- ・身近な事例をもとに、自身と銀行のかかわりについて捉え、お金の流れを理解する。
- ・銀行の三大業務と金融のしくみについて理解し、銀行が豊かな社会をつくるうえで重要な役割を担っていることを知る。

■ 授業の概要(50分)

時間	学習内容とねらい
導入 3分	<p>1. 本授業のめあてを確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のお金の使い方について考え、その多くに銀行がかかわっていることに気づき、授業への興味・関心を高める。
展開① 17分	<p>2. 自分と銀行とのかかわりとお金の流れについて理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークを通して、自分と銀行のかかわりとお金の流れについて確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ワーク ① 個人ワーク「あなたのお金がアーティストに届くまで」</p> <p>インターネットで注文したアーティストのDVDの料金が、アーティストに届くまでのお金の流れを考える。</p> </div>
展開② 25分	<p>3. 金融のしくみを理解し、社会における銀行の役割について考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・銀行の三大業務を理解する。……▶  映像教材【動画で学ぶ 銀行の仕事】 ・お金に余裕のある個人・会社のお金を、お金を必要としている個人・会社に貸出すことが金融であることを理解し、銀行が「お金の橋渡し役」をしていることを理解する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ワーク ② 個人ワーク「銀行の利益」</p> <p>貸出金利、預金金利から銀行の利益を計算し、銀行が利益を得るしくみを理解する。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・銀行と日本銀行の関係、お金の流れを理解する。 ・銀行は、豊かな社会をつくるうえで重要な役割を担っていることを知る。
まとめ 5分	<p>4. 授業をふりかえる</p>

進行スライドに沿って
授業進行が可能



黒板掲示用カードを使って
ワークを可視化



銀行の三大業務について
理解を深められる
映像教材も活用可能



■ 教材一覧

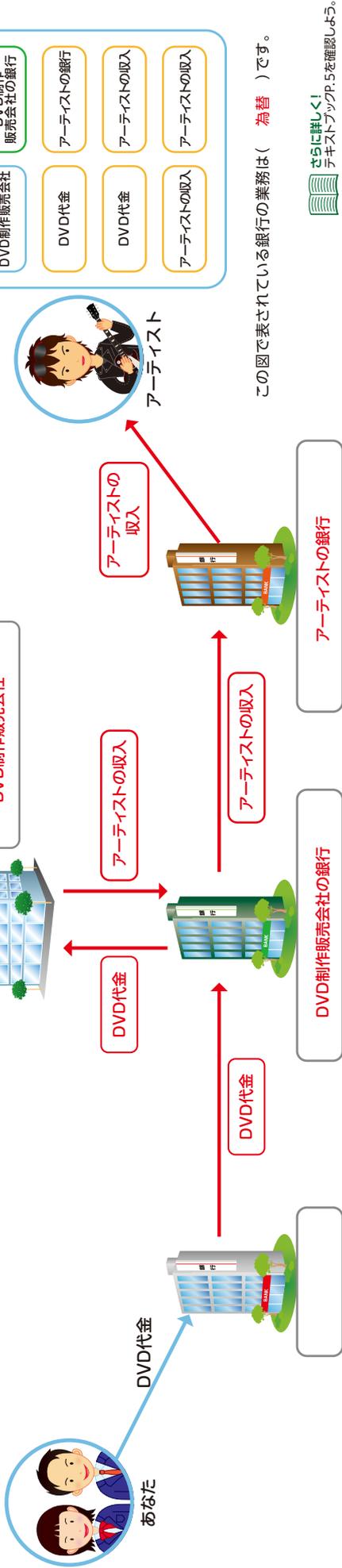
教材	保存先
進行スライド(21枚)	CD-ROM内
ワークシート	※生徒数分を拡大印刷してお使いください。 ティーチャーズガイド P.10 / CD-ROM内
黒板掲示用カード	※CDのデータを印刷ください。 CD-ROM内
映像教材「動画で学ぶ 銀行の仕事」 (一部利用または全編利用)	※授業内容・目的に合わせてご活用ください。 CD-ROM内

あなたとアーティストにかかわる銀行の役割

年 組

1. あなたと銀行とのかかわり

① あなたが支払ったDVD代金は、アーティストのところまでどう届くのだろう。ヒントをすべて使って、お金の動きを矢印で表しながら考えよう。



この図で表されている銀行の業務は(為替)です。

さらに詳しく!
テキストブックP.5を確認しよう。

2. 金融のしくみと銀行の役割

■銀行の主な業務

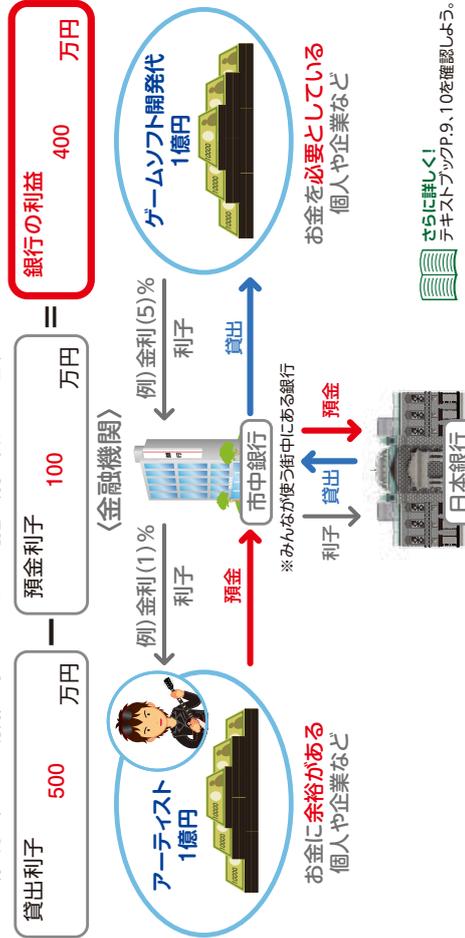
業務の内容
預金
貸出
為替

■金融のしくみ
①「預金」と「貸出」はどのような関係があるのだろう。右の図を参考に金融のしくみをまとめよう。

例) お金に余裕のある個人や企業と、お金を必要としている個人や企業が互いにお金を貸し借りすること。

② 銀行はどのようにして利益を得ているのだろう。

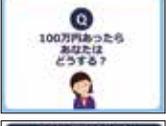
貸出金利5%(1年間)、預金金利1%のときの銀行の利益を確認しよう。
※金利…元金(ここでは1億円)に対して、どのくらいの割合で利息を払うのかの基準。



※日本の中央銀行。個人との取引はない。

今日の授業で
印象に残ったことを書こう

■授業の流れ(詳細)

時間	内容	教員の支援	教材・備考
導入 3分	<h3>1. 本授業のめあてを確認する</h3> <p>1) 自分と銀行のかかわり、銀行の役割について学習することを確認する。(1分)</p> <p>2) 自分のお金の使い方から、銀行とのかかわりについて考える。(2分)</p> <p>Q. 100万円あったらあなたは どうする?</p> <p>予測される生徒の声</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ゲームを買う ▶ 貯金する ▶ 欲しいものを買って、残りはとっておく など ● いろいろな使い道や考え方があるが、意見に出たように「貯金する」「使う」「増やす」これらのすべてに銀行がかかわっていることを説明する。 	<p>★テンポ良く進行し、銀行への興味・関心を高める。</p> <p>★「使う」は、通販や公共料金の支払いなど、振込(為替)の業務を想定している。</p> <p>★「増やす」といった発言が得られなかった場合は、補足する。</p>	<p>・進行スライド</p>     
展開① 17分	<h3>2. 自分と銀行とのかかわりとお金の流れについて理解する</h3> <p>1) 自分と銀行とのかかわりについてふりかえる。(2分)</p> <p>Q. あなたと銀行はどのようにかかわっているのだろうか?</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 銀行を使ったことがありますか? ■ 銀行で何をしましたことがありますか? ■ 銀行は何をしているところだと思えますか? <p>予測される生徒の声</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ お金を預けるところ ▶ お金を振り込むところ ▶ お金を貸し出すところ ▶ お金を両替するところ など <p>生徒用テキストブック P.4 確認 漫画を音読し、授業イメージを高める。</p> <p>2) ワークを通して、自分と銀行とのかかわりに気づく。(15分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 生徒用テキストブックP.4の漫画を音読し、好きなアーティストのDVDをインターネットで購入し、代金を銀行に振り込むことになったことを確認する。 ● 実生活において、インターネットでDVDや他のものを購入したり、銀行に振り込みをしたことがあるかを質問し、ワークへの関心を高める。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>個人ワーク</p> <p>インターネットで注文したアーティストのDVDの料金が、アーティストに届くまでのお金の流れを考える。</p> <p>ワーク ①</p> <p><問いかけ> あなたはインターネットで好きなアーティストのDVDをDVD制作販売会社に注文しました。数日後、DVD代金の振込用紙が届きました。振込用紙には、「銀行窓口でお支払いください」と書いてあります。あなたが銀行で支払ったDVD代金は、どのようにアーティストに届くのでしょうか?</p> <p><ワークの進行方法> ① 黒板掲示用カードを黒板に貼りつける。これらをすべて使用して「あなた」が振り込んだ「DVD代金」が「アーティスト」まで届く流れについて考えることを伝える(黒板に貼りつけているカードは、ワークシート右上のヒントの内容と同じであることを伝える)。</p> </div>	<p>★貸出や振込については発言が得られないこともある。現時点で生徒が知っている銀行についての情報を発表させ、銀行への興味を高める。</p> <p>★生徒の実生活と結びつけるとワークへの関心が高まりやすい。</p> <p>・DVDの実物を提示する ・生徒に銀行振込でDVDを購入したことがあるかを質問するなど。</p> <p>★生徒が考えにくそうにしている場合は、ヒントとして、銀行から振り込んだお金が相手の銀行に振り込まれる(届く)ことを伝え、その流れを考えるようながしたり、個人ワークの後、ペアやグループで意見交換をさせるとよい。</p>	  <p><ワークシート> 本ガイドP.10のワークシートをコピー、またはCD-ROM内のデータを印刷して配布。 ※B4またはA3に拡大してお使いください。</p> <p><黒板掲示用カード> CD-ROM内のデータを印刷して使用。 ・あなた ・アーティスト ・DVD制作販売会社 ・あなたの銀行 ・DVD制作販売会社の銀行 ・アーティストの銀行 ・DVD代金 ・アーティストの収入</p>

時間	内容	教員の支援	教材・備考
<p>展開① 17分 続き</p>	<p>②ワークシート「1.あなたと銀行とのかかわり」で、ヒントをすべて使用して矢印でつなげ、支払った代金がアーティストまでどのように届くかを考え、ワークシートに記入させる。</p>  <p>(ペアで意見交換をしながらワークを進める様子)</p>  <p>(付箋を活用して意見交換を進める様子)</p> <p>③黒板掲示用カードを使用し、生徒に発表させ、クラス全体で共有する。</p>  <ul style="list-style-type: none"> 今、ワークで確認した銀行の業務は「為替」であることを説明し、ワークシート「1.あなたと銀行とのかかわり」に記入させる。 <p>※必要に応じて、生徒用テキストブックP.5を利用し、銀行間では直接現金が動いているのではなく、全国銀行データ通信システムが機能していたり、日本銀行がかかわっていることを確認する。</p> <p>※生徒用テキストブックP.5「印税」という話に生徒が疑問をもった場合は「アーティストの収入の一部である」と説明する。</p>	<p>★他の人の意見を聞くことで、新しい視点を得ることができることに気づかせる。</p> <p>★ワークシート同様に、「あなた」、「あなたの銀行」、「アーティスト」のカードは最初から掲示しておく。</p> <p>★黒板掲示用カードを貼りつけながら発表させる。</p> <p>★ワーク中に巡回し、結果の違うグループを発表させるようにすると、生徒の関心が高まる。</p>	<p>付箋活用</p> <p>グループで意見交換するときには、ヒントの内容を付箋に書き写し、ワークを行うとスムーズです。</p>  <p><生徒用テキストブック> P.5確認。</p>
<p>展開② 25分</p>	<h3>3.金融のしくみを理解し、社会における銀行の役割について考える</h3> <p>1) 銀行の主な業務(三大業務)について確認する。(5分)</p> <p>Q.銀行は主にどのような業務を行っているのだろうか?</p> <ul style="list-style-type: none"> 銀行の主な業務(三大業務)についてまとめ、ワークシート「2.金融のしくみと銀行の役割・■銀行の主な業務」の空欄に記入させる。 <p>ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 銀行には主に3つの業務(「預金」お金を預かる、「貸出」お金を貸し出す、「為替」離れたところにお金を届ける)があり、さきほどワークで確認した業務が「為替」であること、この3つが「銀行の三大業務」であることを伝える。 自分が銀行の窓口でお金を預けたり借りたりしたことがなくても、銀行が自分たちの生活にかかわっていることを生徒用テキストブックP.5「コラム」などを使って確認する。 <p> 映像教材【動画で学ぶ 銀行の仕事】(8分17秒) ※授業内容・目的に合わせて利用。</p> <p>「預金(2分21秒)」「貸出(2分26秒)」「為替(1分51秒)」の説明映像をご覧ください。各業務の働く人々の工夫についても収録されています。授業内容・目的に合わせてご活用ください。</p>	<p>★身近な事例から考えさせ、金融・銀行が自分たちの生活にかかわりがあることへの興味・関心を高める。</p> <p>★映像教材を全編通して活用すると、銀行の業務だけでなく働く人々の工夫(キャリア教育)を指導することもできる。</p>	  <p><映像教材></p>  

時間	内容	教員の支援	教材・備考
<p>展開② 25分 続き</p>	<p>2)「預金」と「貸出」の関係について考え、金融のしくみを理解する。(5分)</p> <p>Q.「預金」と「貸出」にはどのような関係があるのだろうか?</p> <p>① 銀行はお金を「貸出」する業務を行っているが、誰に、どんな理由で貸し出していると思うか、数人を指名して発表させる。(2分)</p> <p>ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家や車など高額な買い物をするときに銀行からお金を借りて購入し、借りたお金を銀行に返済する。物を購入するだけでなく、家の修理や進学費用などが必要になった場合に、預金で足りなければ銀行から借りる事例などを説明する。 ・企業の設備投資なども同じ考え方であることを補足する。 <p>②「貸出」するお金は、お金の余裕のある個人や会社の預金などを利用していることを伝える。(1分)</p> <p>③ ワークシート「2.金融のしくみと銀行の役割 ■金融のしくみ-①」を利用して、金融のしくみについて整理する。(2分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ お金に余裕がある個人や会社と、お金を必要としている個人や会社とが互いにお金を貸し借りすることが金融であること。 ■ 銀行はお金の橋渡し役であること。 <p>※必要に応じて、生徒用テキストブックP.7、8を確認しておくように伝える。</p> <p>3) 銀行がどのように利益を得ているか、ワークを通して確認する。(5分)</p> <p>Q.銀行はどのようにして利益を得ているのだろうか?</p> <p>① 銀行はどのようにして利益を得ているかを考える。(2分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 銀行が「預金」「貸出」「為替」という業務を行っていることを確認したうえで、どのように銀行が利益を得ていると思うかと問いかけ、考えさせる。 <p>② ワークシート「2.金融のしくみと銀行の役割 ■金融のしくみ-②」を利用して、貸出利子と預金利子から銀行の利益を計算する。(2分)</p> <p>ワーク ② 個人ワーク 貸出金利5%と預金金利1%(各1年間)のときの利子の額と差を確認させ、それが銀行の利益になることを確認する。</p> <p>③ 貸出利子と預金利子の差(利ざや)が銀行の利益につながっていることを確認する。(1分)</p> <p>※必要に応じて、生徒用テキストブックP.9を確認させてもよい。</p>	<p>★考えにくい場合には、おうちの人も銀行からお金を借りる場合があることを伝え、まとまったお金を借りるのはどのようなときかをイメージさせるとよい。</p> <p>★企業も同様に、業務拡大、設備投資、事業資金など、さまざまな場面でお金を借りることを伝える。</p> <p>★アーティストが銀行に1億円の預金をしていたとして、みんなの好きなゲームを作る会社の人が、新作の超大作ゲームを作るために、1億円借りたいとする。この1億円の貸出に、アーティストの預金を利用しているなどと伝え、イメージを高める。</p> <p>★生徒のさまざまな意見を引き出したうえで、ワーク②に移り、実感させる。</p> <p>★時間に余裕がある場合には、地元の銀行などの現在の「貸出」「預金」それぞれの金利差はどのくらいかを想像させ、発表させるのもよい。</p>	   <p><生徒用テキストブック> P.7、8参照。 お金を必要としている人に貸す「貸出」のしくみ。</p>    <p><生徒用テキストブック> P.9確認。 「預金」にも「貸出」にも利子がつく。</p>

時間	内容	教員の支援	教材・備考
展開② 25分 続き	<p>4) 銀行と日本銀行の関係について考える。(5分)</p> <p>Q.「銀行」と「日本銀行」はどのような関係があるのだろうか?</p> <p>①「銀行の貸し出せる資金が不足するとどうなると思うか」と問いかける。(2分)</p> <p>予測される生徒の声</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 企業の活動がにぶくなり景気が悪くなる ▶ 世の中に出回るお金が少なくなる ▶ 貸しているところからお金を返してもらい など <p>② 銀行と日本銀行の関係について、ワークシート「2.金融のしくみと銀行の役割 ■金融のしくみ-③」に記入させる。(3分)</p> <p>ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の意見を尊重しながら、銀行の貸出資金が不足した場合は、銀行にお金を貸してくれる銀行＝日本銀行があること、銀行は日本銀行に預金していることを伝える。 ・日本銀行はその役割から、銀行の銀行と呼ばれていることを伝える。 <p>※必要に応じて、生徒用テキストブックP.10コラムを確認させても良い。</p> <p>オプション 日本銀行が銀行にお金を供給することで、世の中にお金が回りやすくなるなど、日本銀行の金融政策についての導入にすることもできます。</p> <p>5) 社会における銀行の役割について理解する。(5分)</p> <p>この活動は、本ガイドP.19アドバンスプログラムワークショップ①「豊かな社会をつくる資金仲介のはたらき『あなたの預金が生み出す社会の発展～お金の流れが与える影響を考える～』」の簡易版となります。ワークショップ①を実施される場合は割愛してください。</p> <p>Q. 銀行は社会にとってどのような役割をはたしているのだろうか?</p> <p>①「貸出を受けた人・企業はどんなことができるだろう」と問いかけ、発表させる。(3分)</p> <p>予測される生徒の声</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 車や家を買える ▶ 新しい商品が開発できる ▶ 給料などに使える など <p>ポイント</p> <p>いずれも経済が活発に動かなくなることにつながっていることに気づかせる。</p> <p>② スライドのほかの例なども利用しながら、銀行が社会の中でどのような役割を担っているか説明する。(2分)</p> <p>※ 生徒用テキストブックP.10「社会の中での銀行の役割」を利用して学習を深めてもよい。</p> <p>ポイント</p> <p>銀行が「預金」と「貸出」業務を通してお金の橋渡し役になることで、企業が新しい商品やサービスを提供できるようになったり、それにより雇用が創出されたり、給料を得た人々が旅行や買い物したりして、さらに「豊かな社会をつくる」役割を担っていることを伝える。</p>	<p>★ 生徒の意見を尊重しながら説明する。</p>	   <p><生徒用テキストブック> P.10コラム確認。</p>    <p><生徒用テキストブック> P.10確認。</p>



時間	内容	教員の支援	教材・備考
まとめ 5分	<h3>4. 授業をふりかえる</h3> <ul style="list-style-type: none"> ●銀行の業務(為替、預金、貸出)、金融のしくみについて学習したことをふりかえり、ワークシート「今日の授業で印象に残ったことを書こう」に記入させる。 ●生徒用テキストブックを自宅でも読んでふりかえるように伝える。 	<p>★時間に余裕がある場合は、何人かに発表させ、生徒の理解度を確認する。</p>	

■ 黒板掲示用カード

ワーク①で使用します。CD-ROM内のデータを印刷してご活用ください。

 あなた	 アーティスト	 DVD制作販売会社	 あなたの銀行
 DVD制作販売会社の銀行	 アーティストの銀行	DVD代金	アーティストの収入

■ 映像教材「動画で学ぶ 銀行の仕事」全編:8分17秒

銀行の三大業務について理解を深められます。主人公と銀行員のやりとりを通して、業務内容だけでなく、働く人々の思いや工夫にも触れることができる構成になっています。

※授業の内容・目的に合わせて必要箇所をご活用ください。



預金:2分21秒

アルバイト代を受け取るための口座開設に訪れた主人公が、預金をするメリットや預金に携わる銀行員の仕事内容や仕事への思いについて聞きます。



貸出:2分26秒

ローンに興味をもった主人公が、貸出のしくみや貸出に携わる銀行員の仕事内容や仕事への思いについて聞きます。



為替:1分51秒

ネットで注文した商品の振込を依頼した主人公が、為替のしくみや為替に携わる銀行員の仕事内容や仕事への思いについて聞きます。

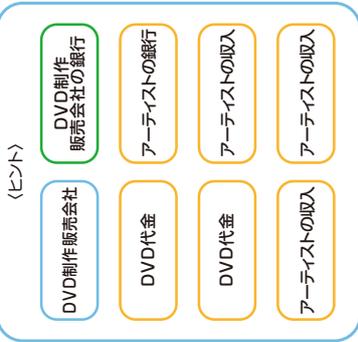
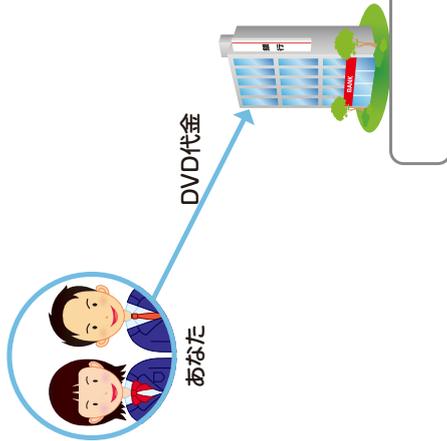
あなたとアーティストにかかわる銀行の役割

授業 1

年 組

1. あなたと銀行とのかかわり

①あなたが支払ったDVD代金は、アーティストのところまで届くのだろうか。
ヒントをすべて使って、お金の動きを矢印で表しながら考えよう。



この図で表されている銀行の業務は()です。

さらに詳しく!
テキストブックP.5を確認しよう。

2. 金融のしくみと銀行の役割

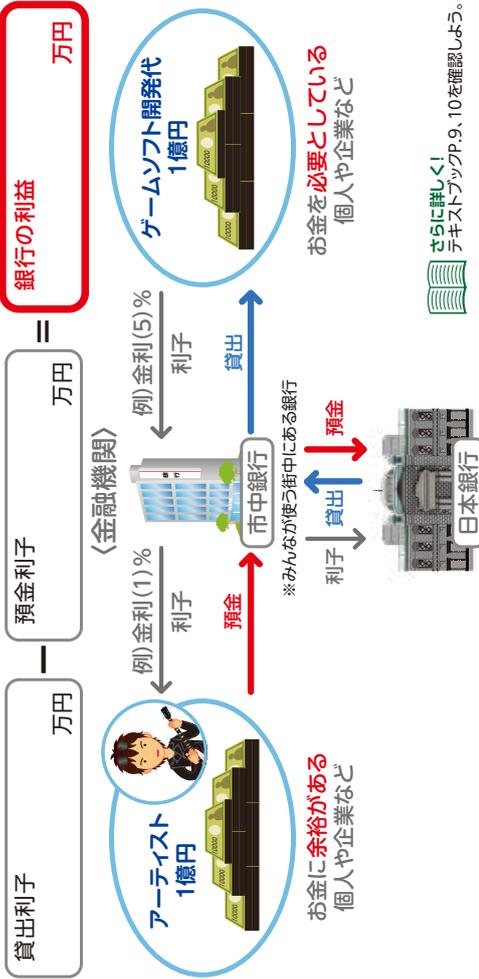
■銀行の主な業務

業務の内容
<input type="text"/>
<input type="text"/>
<input type="text"/>

■金融のしくみ
①「預金」と「貸出」はどのような関係があるのだろうか。
右の図を参考に金融のしくみをまとめよう。

テキストブックP.5~9
を確認しよう。

②銀行はどのようにして利益を得ているのだろうか。
貸出金利5%(1年間)、預金金利1%のときの銀行の利益を確認しよう。
※金利…元金(ここでは1億円)に対して、どのくらいの割合で利息を払うのかの基準。



さらに詳しく!
テキストブックP.9,10を確認しよう。

③「銀行」と「日本銀行」はどのような関係があるのだろうか。

④銀行は社会にとってどのような役割をはたしているのだろうか。

今日の授業で
印象に残ったことを書こう

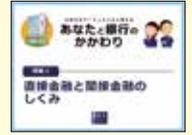
学習のねらい

- ・企業の資金調達方法を考え、銀行融資と株式投資のお金の流れの違いについて理解する。
- ・間接金融と直接金融のしくみを理解し、それぞれが社会・経済活動に与える影響を知る。

授業の概要(50分)

※本授業は「株式会社のしくみ」の学習後に実施すると、理解が深まりさらに効果的です。

進行スライドに沿って
授業進行が可能



銀行の三大業務について
映像教材での
ふりかえりも可能



時間	学習内容とねらい
導入 3分	<p>1. 銀行の業務についてふりかえる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・銀行の業務(貸出)、銀行の役割についてふりかえる。 <p>2. 本授業のめあてを確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業がお金を必要とした場合、そのお金はどのように流れているかについて、興味・関心を高める。
展開① 10分	<p>3. 企業の資金調達方法について考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業の資金調達方法について考える。 ・代表的な資金調達方法(銀行融資・株式発行)のしくみを理解する。
展開② 25分	<p>4. 銀行融資と株式投資のお金の流れの違いについて考える</p> <div style="border: 1px solid #0070C0; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>ワーク ① 個人ワーク「あなたのお金は会社の資金調達につながるだろうか」 アーティストの新しい事業を資金面で応援するために、自分の預金100万円を銀行預金した場合、株式投資した場合、それぞれ会社の資金調達につながるかを考える。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のお金の使い方が会社の資金調達につながるかを考え、社会における金融の役割に目を向ける。 ・2つの資金調達方法(銀行融資・株式投資)における、企業と自身(投資側)のかかわりの違いを理解する。 <div style="border: 1px solid #0070C0; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>ワーク ② ペアでのディスカッション「会社の事業の状況はあなたのお金にどんな影響があるだろうか」 アーティストの事業が成功した場合と失敗した場合を想定し、銀行預金した場合と株式投資した場合、それぞれ自分のお金にどのような影響があるかを考える。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・会社の事業の状況が自身のお金に与える影響について理解する。 ・2つの資金調達方法(銀行融資・株式投資)における、企業と自身(投資側)のかかわりの違いを理解する。
まとめ 12分	<p>5. 間接金融と直接金融について整理する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・間接金融と直接金融のしくみを理解し、それぞれが社会・経済活動に与える影響に目を向ける。 <p>6. 授業をふりかえる</p>

教材一覧

教材	保存先
進行スライド(15枚)	CD-ROM内
ワークシート	※生徒数分拡大印刷してお使いください。ティーチャーズガイド P.17 / CD-ROM内
オプション 映像教材「動画で学ぶ 銀行の仕事」	※授業内容に合わせてご活用ください。CD-ROM内

直接金融と間接金融のしくみ

1. 企業の資金調達方法

アーテクトが起業した制作会社は軌道に乗り、新規事業として「人と自然と音楽の融合をはかるテーマパーク」を建設し運営することを計画しています。建設費用には10億円の資金が必要です。

① 資金調達にはどんな方法があるのだろうか。

- ・銀行から借りる
- ・消費者金融から借りる
- ・クレジット会社から借りる
- ・株式を発行する など

② 資金調達方法の中で主に行われているものはどれだろう。

銀行融資

株式発行

2. 銀行融資と株式投資のお金の流れの違い

あなたが貯めたお金が100万円になりました。大好きなアーテクトの会社がテーマパーク建設のために資金を必要としていることを知り、ぜひ協力したいと思いました。

① あなたのお金はアーテクトの会社の資金調達につながるだろうか

「銀行預金」「株式投資」それぞれの場合を考慮して○をつけ、その理由を記入しよう(表の①の枠に記入)。

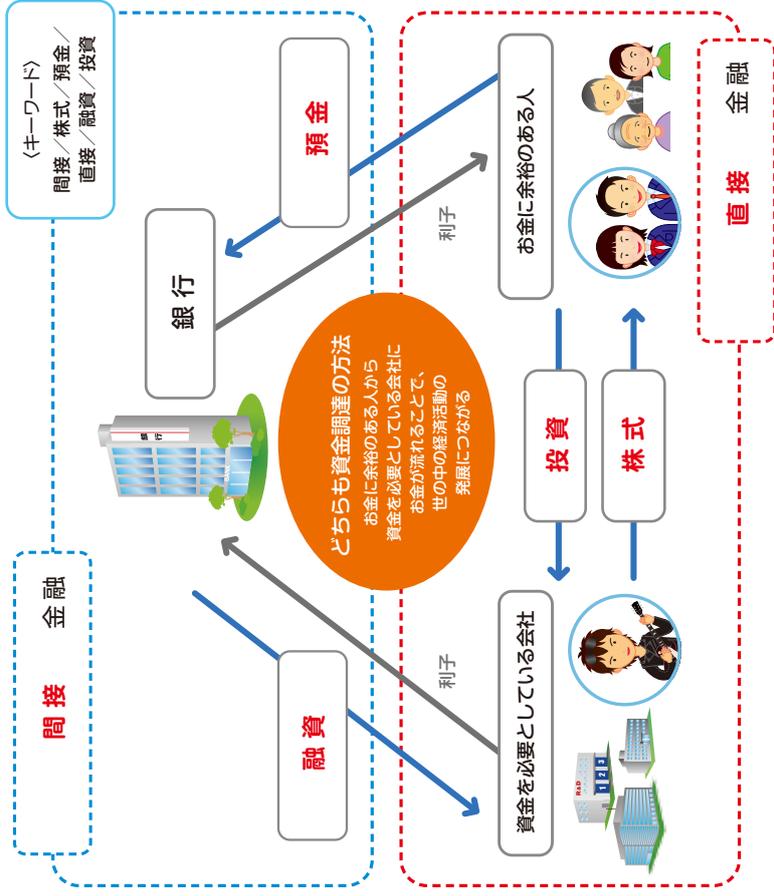
② アーテクトの会社が事業に成功した場合と失敗した場合、あなたのお金にどんな影響があるか

「銀行預金」「株式投資」それぞれの場合を考慮して○をつけ、その理由を記入しよう(表の②の枠に記入)。

事業成功：テーマパーク完成、運日にぎわっている
事業失敗：テーマパーク建設中に天災があり工事が中断した

	①	②	
	アーテクトの資金調達に	あなたの影響	理由
銀行預金	つながる つながらない どちらともいえない	ある なし	お客が集まり、会社の利益は増える可能性があるが、「あなた」の預金には影響がない。
	理由：「あなた」の銀行預金が銀行を通じて、アーテクトの会社に融資されたため、わからぬから。	ある なし	そのまま建設中止になったとしても、「あなた」の預金には影響がない。
株式投資	つながる つながらない どちらともいえない	ある なし	世界中からお客が集まり、会社の利益が増え、配当金がたくさん出る可能性がある。株主優待券が配布され、テーマパークに無料で遊びにいける可能性がある。
	理由：そのままアーテクトの会社の資金になるから。	ある なし	会社が大幅な赤字を被り、配当金が出せなくなるかもしれない。そのまま建設が中止になったら、会社が倒産して、投資したお金は戻らない可能性がある。

③ 資金調達方法にはどんな違いがあるのだろうか。下の図と文章のキーワードを入れて、お金の流れについて整理しよう。



「資金を必要としている会社」と「お金の余裕がある個人」を銀行などが仲介して、**間接**的に資金を貸し借りするしくみを**間接**金融という。

「資金を必要としている会社」が「お金の余裕がある個人」から**直接**的に資金を調達し、会社の利益を分配するしくみを**直接**金融という。

今日の授業で印象に残ったことを書こう

生徒用ワークシートは拡大コピー、またはCD-ROM内のデータを印刷してご利用ください。

時間	内容	教員の支援	教材・備考
<p>導入 3分</p>	<h2>1. 銀行の業務についてふりかえる</h2> <p>1) 銀行の役割、銀行の業務(貸出)についてふりかえる。(2分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 生徒用テキストブックP.8「お金を必要としている人に貸す「貸出」のしくみ」の「預金と貸出の関係」の図を参照し、下段の「銀行は、お金の余裕のある人から必要としている人へお金の橋渡しをしています」を読ませる。 <ul style="list-style-type: none"> ※生徒用テキストブックP.12「アーティストと銀行のかかわり」P.13「お金を借りるには信用がカギ」をもとにアーティストと銀行のかかわりをイメージさせてもよい。 ※映像教材を活用し、銀行業務の内容を業務ごとにふりかえることも可能です。詳細は本ガイドP.1をご覧ください。 <h2>2. 本授業のめあてを確認する</h2> <p>1) 本授業では、企業がどんな方法で資金調達をしているのか、またそれによって、どのようにお金が流れているのかを考えることを確認する。(1分)</p>	<p>生徒用テキストブック P.8確認</p> <p>預金と貸出の 関係をおさえる。</p> <p>★銀行の「預金」と「貸出」の関係を確認し、企業と自身にかかわりがあることに目を向けさせるとよい。</p> <p>★「金融」という言葉の理解が不足している場合、個人や企業が互いにお金を貸し借りする＝金融(資金を融通すること)の説明を加えるとよい。</p>	<p>・進行スライド</p>  <p>＜生徒用テキストブック＞ P.8確認。</p> 
<p>展開① 10分</p>	<h2>3. 企業の資金調達方法について考える</h2> <p>1) 企業が資金を集めるのにどのような方法があるか考える。(3分)</p> <p>①ストーリー設定を伝える。(1分)</p> <p>アーティストが起業した制作会社は軌道に乗り、新規事業として「人と自然と音楽の融合をはかるテーマパーク」を建設し運営することを計画しています。その建設費用に、新たに10億円の追加資金が必要になりました。</p> <p>Q. 企業の資金調達にはどのような方法があるのだろうか?</p> <p>②アーティストの会社の資金調達の方法を考え、ワークシート「1.企業の資金調達方法-①」に、記入させる。(2分)</p> <p>予測される生徒の声</p> <p>▶銀行から借りる ▶株式を発行する ▶親戚の人から借りる ▶DVD がたくさん売れるように宣伝する ▶ファンクラブの会費を値上げする など</p> <p>※生徒からクレジットや消費金融会社(ノンバンク)についての発言や質問が出た場合は、生徒用テキストブックP.14「金融機関のはなし」右下コラムを参照する。</p> <p>2) 実際に行われている資金調達方法(銀行融資・株式発行)について知る。(7分)</p> <p>①実際に多くの企業で行われている資金調達の方法が「銀行融資」と「株式発行」であることを伝え、ワークシート「1.企業の資金調達方法-②」に記入させる。</p> <p>②「2つの資金調達の方法にどのような違いがあるのだろうか?」と問いかけ、銀行融資と株式発行のお金の流れを説明する。</p> <p>ポイント 「銀行融資」は企業が銀行からお金を借りることであり、「株式発行」は株式を個人や別の会社を買ってもらってお金を集めることであることを解説する。</p>	<p>★基本授業1を実施していない場合は、生徒用テキストブックP.12の漫画を読み、ストーリーの前提を理解させる。</p> <p>★意見が出にくい場合は、ペアで考えさせてもよい。</p> <p>★「株式発行」が出なかった場合には教員から補足する。</p> <p>★「銀行融資」「株式発行」についてすでに学習している場合は、生徒に説明させてもよい。</p>	<p>ワークシートをコピー、またはCD-ROM内のデータを印刷してし配付する(本ガイドP.17)。 ※B4またはA3に拡大してお使いください。</p>    

時間	内容	教員の支援	教材・備考
展開② 25分	<h2>4. 銀行融資と株式投資のお金の流れの違いについて考える</h2> <p>1) ストーリー設定を伝える。(1分)</p> <p>あなたが貯めたお金が100万円になりました。大好きなアーティストがテーマパーク建設のために資金を必要としていることを知り、ぜひ協力したいと思いました。</p> <p>2) アーティストの会社を資金面で応援するためのお金の使い方を考える。(1分)</p> <p>Q. アーティストの資金調達をどのような方法で応援することができるだろう?</p> <p>①アーティストの資金調達を応援する方法について、生徒に意見を発表させ、その確認を次のワークで行うことを伝える。</p> <p>3) 自分のお金の使い方がアーティストの会社の資金調達につながるかを考える。(11分)</p> <div style="border: 1px solid #0070C0; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>個人ワーク</p> <p>ワーク①</p> <p>資金調達を応援する方法にはいろいろあるが、ワークシート1-②で、企業の資金調達方法は「銀行融資」と「株式発行」であることをふりかえり、今回はあなたのお金を「銀行に預金したまま」の場合と「株式を購入する(株式投資)」の場合で、アーティストの会社の資金調達につながるかどうか考える。</p> </div> <p>①2つの方法が資金調達につながるかを考え、ワークシート「2. 銀行融資と株式投資のお金の流れの違い-①」に記入させ、意見を発表させる。(7分)</p> <p>②2つの方法がどのようにアーティストの資金調達につながるかを説明する。(4分)</p> <p>ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図中の銀行の「融資」は、「資金を必要としている複数の会社」のうちどの会社に融資されたかは不明であることに注目させ、「あなた」の「銀行預金」がアーティストの会社の資金調達につながるかどうかは「どちらともいえない」ことを理解させる。 ・「あなた」からの「株式投資」はアーティストの会社に直接的に向かっていることを図で確認させ、「株式投資」はアーティストの会社の資金調達に「つながる」ことを理解させる。 <p>4) 企業の事業の失敗や成功によって、自分のお金にどのような影響があるのかを考える。(12分)</p> <div style="border: 1px solid #0070C0; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ペアでのディスカッション</p> <p>ワーク②</p> <p>アーティストの会社の事業の状況によって、自分のお金にどのような影響があるかを考える。</p> <p>★事業成功の場合 建設した「人と自然と音楽の融合をはかるテーマパーク」が環境保護の世界会議の会場として選ばれ、世界中から集客、それによって株価上昇など。</p> <p>★事業失敗の場合 工事中断により、用地確保費用の返済や建設資材の支払いが滞り、会社の経営状態が悪化して会社が倒産するなど。</p> </div>	<p>★生徒の情報を自由に引き出しつつ、展開①の資金調達方法をふりかえりながらまとめることよい。</p> <p>★中学生でも株式投資が実際にできるか、生徒からの質問があった場合には、未成年者が口座を開設できる証券会社はいくつかあるが、売買には親権者の同意が必要であると説明する。</p> <p>★意見が出にくい場合は、ペアで考えさせてもよい。</p> <p>★株式投資の場合は、資金調達に直接的につながるだけでなく、会社の事業の状況によって投資側に「配当」があることを伝え、次のワークの参考になるようにする。</p> <p>★成功・失敗の場合それぞれ企業に何がおこるか予想させてもよい。</p>	    

時間	内容	教員の支援	教材・備考
<p>展開② 25分 続き</p>	<p>①事業が成功した場合と失敗した場合のそれぞれの設定で、「あなた」の「銀行預金」と「株式投資」のお金にどのような影響があるかをペアで話し合わせ、「2.銀行融資と株式投資のお金の流れの違い-②」に記入させる。(6分)</p> <p>②記入した内容を発表させ、他のペアの意見をワークシートに追記させる。(4分)</p> <p>③事業の失敗と成功による影響が、2つの方法でどのように異なるのか説明する。(2分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■銀行預金—預金には影響がないが、状況によって利子が増えるか増えないかは変わる。 ■株式投資—株式のお金が保証されるか、配当が出るか出ないかが変わる。 <p>ポイント アーティストの事業失敗や成功により、間接金融の場合は「あなた」への影響はあまりないが、直接金融の場合はリスクもメリットも直接「あなた」に影響があることを確認する。</p>	<p>★他の人の意見を聞くことで、新しい視点を得ることができることに気づかせる。</p> <p>★「配当」… 会社が事業を通じて得た利益を株主に対して、株数に応じて配分するもの。業績などによっては配当を受け取れないこともある。</p>	
<p>まとめ 12分</p>	<h2>5.間接金融と直接金融について整理する</h2> <p>1)2つの資金調達方法のお金の流れの違い、社会・経済活動に与える影響についてまとめる。(7分)</p> <p>①資金調達にはどんな違いがあるのか、「2.銀行融資と株式投資のお金の流れの違い-③」で確認することを伝え、図の空白部分を記入させる。(3分)</p> <p>②記入内容を確認し、「2.銀行融資と株式投資のお金の流れの違い-③」の図を解説しながら、ふりかえる。(2分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●銀行融資が「間接金融」であり、株式投資が「直接金融」であることと、両方とも「資金調達の方法」であり、それによって市中にお金が回り経済活動の発展につながることを解説する。 <p>③図下のまとめに当てはまる言葉を記入させ、直接金融と間接金融のしくみの違いを整理させる。(1分)</p> <p>※直接金融には、企業が債券(お金を借りる時にその証明として発行する証明書)を発行してお金を集める方法もある。 債券には会社が発行する社債、国や地方公共団体が発行する国債や地方債などがある。</p> <p>④生徒用テキストブックP.16「間接金融・直接金融のはなし」を開き、自宅でも読んでふりかえるように伝える。(1分)</p> <p>オプション</p> <p>自分自身のお金の使い方を考えるワークを組み込むことで、消費者としての責任を考え、行動を決定する大切さについて気づかせることができます。</p> <p>※詳細は次ページをご覧ください。</p>	<p>★図右上のキーワードをヒントにするように伝える。</p> <p>★文中の「仲介」という語について質問が出た場合は、生徒用テキストブックP.10「資金仲介のはなし」を参照する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>生徒用テキストブックP.16確認</p> <p>起業～事業拡大～新規事業という企業の成長の視点から、直接金融・間接金融について捉えなおす。</p> </div> <p>★オプションを実施する場合は、「市場経済における消費者としての責任」について、教科書などでふれておくとよい(またはその導入として行うことも可能)。</p> <p>★市場経済の一員である消費者として、責任をもって行動することが大切であることを伝えることで、生徒も消費者の一員であることに気づかせ、消費者として大切な視点を持つことにつなげる。</p>	 <p>＜生徒用テキストブック＞P.16確認。</p>

時間	内容	教員の支援	教材・備考
まとめ 12分 続き	6. 授業をふりかえる (5分) <ul style="list-style-type: none"> さまざまな立場からの企業の資金調達方法を考えてきたことをふりかえり、ワークシート「今日の授業で印象に残ったことを書こう」に記入させる。 		

オプション

自分自身のお金の活用方法を考える

下記のワークを実施することで、企業と自分自身、銀行、社会とのかかわりを理解したうえで、自分自身が**実際にそのような立場にたったとき**に、どのように考え、行動するべきなのかを考えさせることができます。また、このワークを通し、消費者としての責任を考え、行動を決定する大切さについて気づかせることもできます。

- ①自分自身がアーティストのように企業を立ち上げた場合、どのように資金調達をするか、その理由は何かを考えさせる。
- ②自分自身が100万円を持っていたら、応援したい会社に対してどのようにお金を使うか、ワークシート「2. 銀行融資と株式投資のお金の流れの違い」で記入した意見を読み、それぞれの考え方の違いや共通点を参考にし、理由とともに考えさせる。
※すべて貯金する、すべて投資する、半分ずつにするなど具体的に考えさせる。
- ③貯めたお金の活用方法を決めるときに大切なことは何かを考えさせる。
 - 貯めたお金の活用方法を決めるときに大切なことは何だろう?と問いかけ考えさせる。
 - 数人に発表させ、貯めたお金の活用方法を決めるときに大切なことを確認する。
 - 貯めたお金の活用方法を決めるときには、金融のしくみを知ること(知識)、他の人の意見や世の中の動きを知ること(情報収集)、今だけではなく将来のことも考えること(計画性)、社会のために役立つか(社会貢献)などを踏まえたうえで、自分自身でよく考えて決めることが大切であることを伝える。

授業 2 直接金融と間接金融のしくみ

1. 企業の資金調達方法

アーティストが起業した制作会社は軌道に乗り、新規事業として「人と自然と音楽の融合をはかるテーマパーク」を建設し運営することを計画しています。建設費用には10億円の資金が必要です。

① 資金調達にはどんな方法があるのだろう。

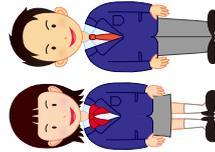


2. 銀行融資と株式投資のお金の流れの違い

あなたが貯めたお金が100万円になりました。大好きなアーティストの会社がテーマパーク建設のために資金を必要としていることを知り、ぜひ協力したいと思いました。

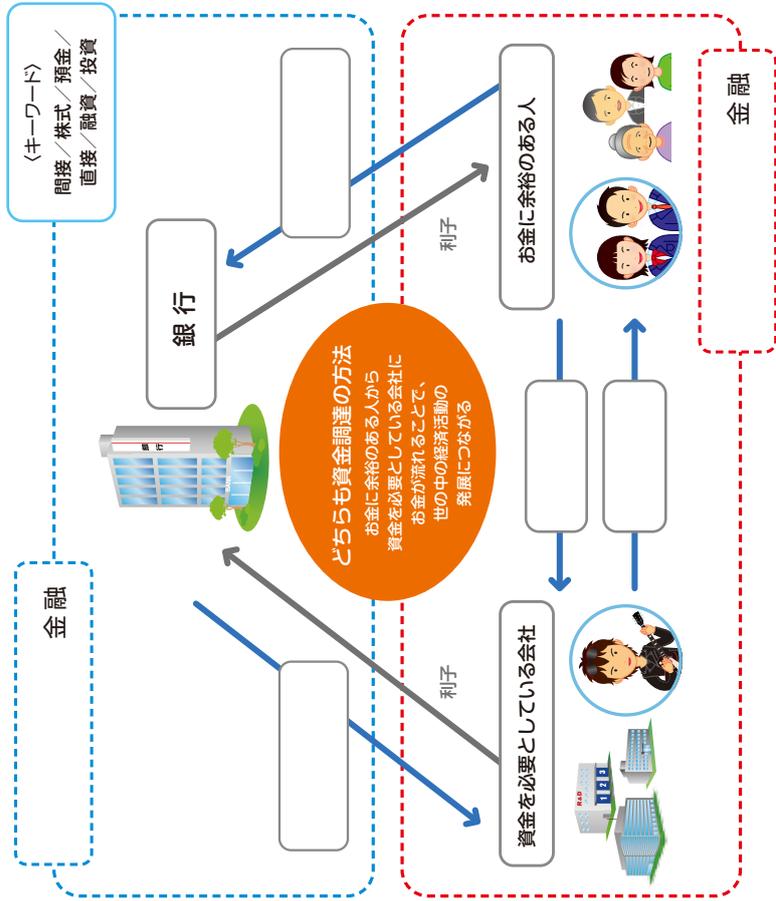
- ① あなたのお金はアーティストの会社の資金調達につながるか
「銀行預金」「株式投資」それぞれの場合を考えて○をつけ、その理由を記入しよう(表の①の枠に記入)。
- ② アーティストの会社が事業に成功した場合と失敗した場合、あなたのお金にどんな影響があるか
「銀行預金」「株式投資」それぞれの場合を考えて○をつけ、その理由を記入しよう(表の②の枠に記入)。

事業成功：テーマパーク完成、連日にぎわっている
事業失敗：テーマパーク建設中に天災があり工事が中断した



	①		②		
	アーティストの資金調達に	理由	事業の結果	あなたのお金への影響	理由
銀行預金	つながる		事業成功	ある	
	つながらない		事業失敗	なし	
株式投資	どちらともいえない		事業成功	ある	
	どちらともいえない		事業失敗	なし	

③ 資金調達方法にはどんな違いがあるのだろう。下の図と文章のキーワードを入れて、お金の流れについて整理しよう。



「資金を必要としている会社」と「お身に余裕がある個人」を銀行などが仲介して、 的に資金を貸し借りするしくみを 金融という。
 「資金を必要としている会社」が「お身に余裕がある個人」から 的に資金を調達し、会社の利益を分配するしくみを 金融という。

今日の授業で印象に残ったことを書こう

MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing.

■ 学習のねらい

- ・銀行の「預金」と「貸出」が生み出すお金の流れは、多くの企業活動や個人の生活にかかわっていることを理解する。
- ・銀行による資金仲介は、新しい技術開発や新製品・サービスの提供など社会を豊かにするさまざまな変化を促していることに気づく。

グループディスカッションを通じて思考力・判断力・表現力(「貸出」が与える影響について考える力)を育成する。

■ 授業の概要(50分)

進行スライドに沿って
授業進行が可能



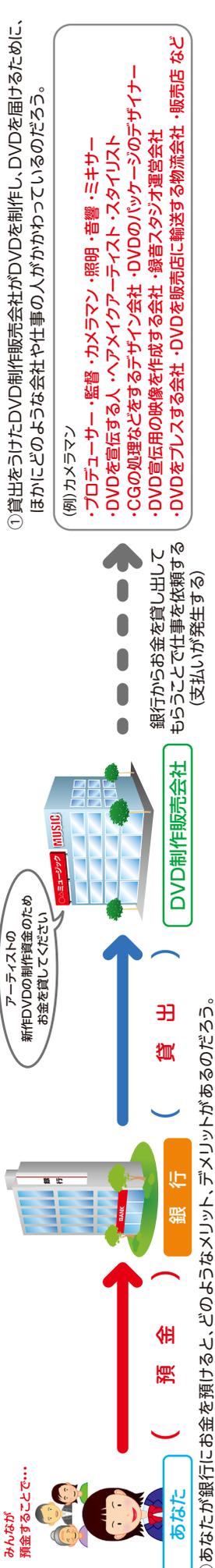
時間	学習内容とねらい
導入 3分	<p>1. 銀行の業務について確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・銀行の「預金」「貸出」業務について確認する。 <p>2. 本授業のめあてを確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・銀行の「預金」「貸出」によって生み出されるお金の流れが、社会にどのような影響を与えるかについて考えることを確認する。
展開① 23分	<p>3. DVDがわたしたちの手元に届くまでに、さまざまな企業や個人がかかわっていることを知る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DVD制作販売会社がDVDを制作し、そのDVDがわたしたちの手元に届くまでに、どのような会社や人がかかわっているか考える。 <p>4. 「預金」と「貸出」によって生み出されるお金の流れが、社会にどのような影響を与えるかについて考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしたちが「預金」し、銀行が「貸出」することによって、わたしたちや企業にどのようなメリット・デメリットがあるか考える。 ・DVD制作販売会社が銀行から「貸出」をうけた場合と受けなかった場合の影響について考える。 <p>ワーク ① グループディスカッション <思考力・判断力> 貸出によって、DVD制作販売会社にかかわる企業や個人にどのような影響があるのだろうか?</p>
展開② 21分	<p>5. 「預金」「貸出」を通じて社会にお金が行きわたることによってどのようなことが実現できるか考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・銀行が企業にお金を貸し出すことで、企業が実現できることについて考える。 <p>ワーク ② グループプレスト <思考力> 銀行が企業にお金を貸し出すことで、どのようなことが実現できるのだろうか?</p> <ul style="list-style-type: none"> ・銀行の資金仲介によって、社会全体にもたらされるメリットについて考える。 <p>ワーク ③ グループディスカッション <思考力・判断力・表現力> 資金仲介によって社会全体にどのようなメリットがあるのだろうか?</p>
まとめ 3分	<p>6. 授業をふりかえる</p>

■ 教材一覧

教材	保存先
進行スライド(24枚)	CD-ROM内
ワークシート ※生徒数分を拡大印刷してお使いください。	ティーチャーズガイド P.24 / CD-ROM内

ワークショップ① あなたの預金が生み出す社会の発展～お金の流れが与える影響を考えよう

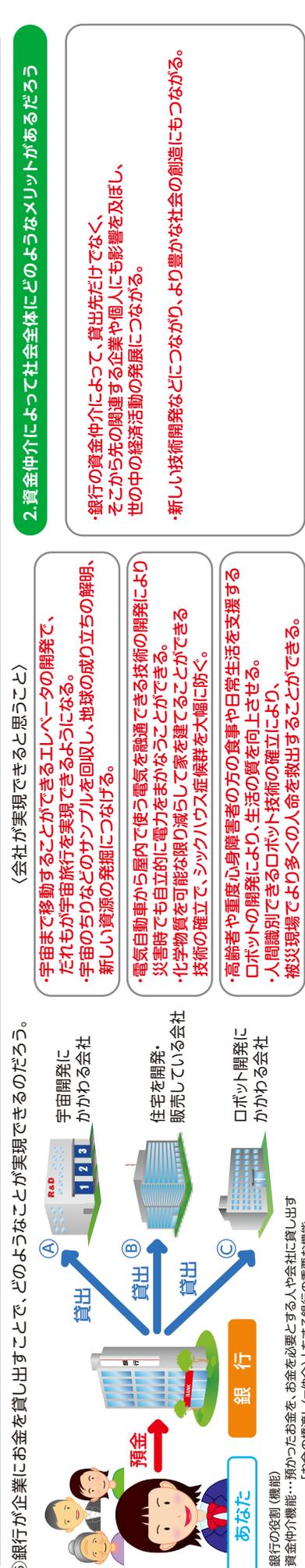
1. 銀行がお金を貸し出すことで、どのような影響があるのだろうか



あなたにとって	メリット(良い点)	デメリット(悪い点)
③ DVD制作販売会社が銀行から貸出をうける理由を考えよう。	<ul style="list-style-type: none"> ・利子がある。 ・泥棒や災害から財産を守れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・銀行が破たんしたらお金が返ってこない可能性もある。 ・(ATMや銀行に行かなければ)すぐにお金を引き出せない。

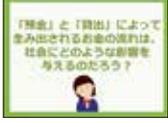
DVD制作販売会社にとって	希望する理由	希望しない理由
④ 「DVD制作販売会社にかかわる会社や仕事の人」にとって、「DVD制作販売会社」が銀行から貸出をうけた場合と、銀行から貸出がうけられなかった場合と、どのような影響があるのだろうか。	<ul style="list-style-type: none"> ・DVDを制作でき、利益につながる。 ・新しく人を雇うことができ、会社を大きくできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利子が発生する。 ・DVDが売れないと(返済できないと)借金が残る。

DVD制作販売会社にかかわるその他の企業・個人にとって	企業(個人)にとって	企業(個人)へヘアメイクアーティストにとって
⑤ 銀行が企業にお金を貸し出すことで、どのようなことが実現できるのだろうか。	<p>貸出をうけたときの影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上が増えて利益が発生し、新しい事業などが立ちあげられる。 ・仕事が増えて新しく人を雇うことができ、会社を大きくできる。 	<p>貸出をうけたときの影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収入(給与)が入り、趣味や余暇などを楽しむ、豊かな生活につながる。



★資金仲介は、実現すると社会を変えていける新しい技術などの開発にもつながることに気づかせよう。

生徒用ワークシートは拡大コピー、またはCD-ROM内のデータを印刷してご利用ください。

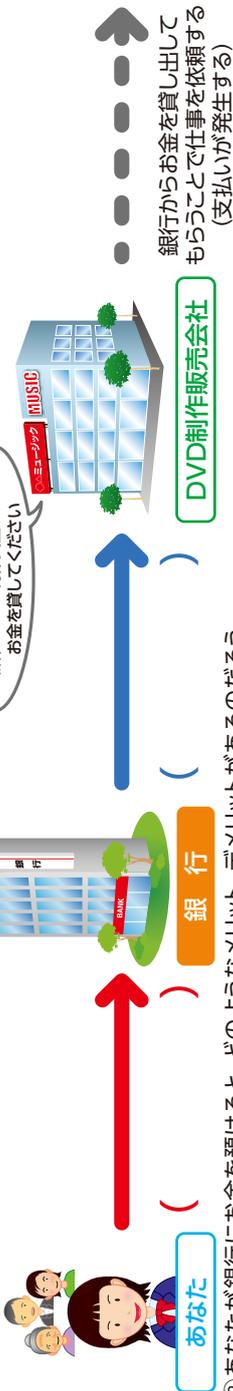
時間	内容	教員の支援	教材・備考
<p>導入 3分</p>	<p>1. 銀行の業務について確認する</p> <p>1) 銀行の「預金」「貸出」業務について確認する。</p> <p>① ワークシート1. のイラスト「あなた」→「銀行」、「銀行」→「DVD制作販売会社」にある()に、それぞれどのような言葉が入るが「預金」「貸出」のスライドを示しながら書き写すよう伝える。</p> <p>② スライドを提示してそれぞれ「預金」「貸出」であったことを確認し、預金されたお金の一部を銀行が企業(DVD制作販売会社)に貸し出すことで、新しい商品(アーティストのDVD)が作れることを確認する。</p> <p>③ 銀行が「預金」「貸出」を通してお金の橋渡し役になることで、お金が必要な個人や会社にお金が行くこと(間接金融)を確認する。</p> <p>2. 本授業のめあてを確認する</p> <p>1) 銀行の「預金」「貸出」によって生み出されるお金の流れが、社会にどのような影響を与えるかについて考えることを確認する。</p>	<p>★導入でDVDに関する身近な例を出し生徒を惹きつける。</p>	  
<p>展開① 23分</p>	<p>3. DVDがわたしたちの手元に届くまでにさまざまな企業や個人がかかわっていることを知る</p> <p>1) DVD制作販売会社がDVDを制作し、そのDVDがわたしたちの手元に届くまでに、どのような企業や個人がかかわっているか考える。(5分)</p> <p>① 銀行から貸出をうけたDVD制作販売会社がDVDを制作し、販売するにあたり、どのような会社や仕事の人がかかわっていると思うか、個人で考えさせ、ワークシート1.-①に記入させる。</p> <p>〈例〉 ・プロデューサー ・監督 ・カメラマン ・照明 ・音響 ・ミキサー ・DVDを宣伝する人 ・ヘアメイクアーティスト ・スタイリスト ・CGの処理などをするデザイン会社 ・DVDのパッケージのデザイナー ・DVD宣伝用の映像をつくる会社 ・録音スタジオ運営会社 ・DVDをプレスする会社 ・DVDを販売店に輸送する物流会社 ・販売店 など</p> <p>② 何人かの生徒の意見を発表させ、多くの会社や人がかかわっていることに気づかせる。</p> <p>ポイント 企業が商品を作って提供するまでに、ほかにもたくさんの企業や個人がかかわっていることに気づかせ、この後の展開で、「預金」と「貸出」によって生じるお金の流れがなかったら、どのような影響があるかを考えるきっかけにする。</p> <p>4. 「預金」と「貸出」によって生み出されるお金の流れが、社会にどのような影響を与えるかについて考える</p> <p>1) わたしたちが「預金」し、銀行が「貸出」することによって、わたしたちや企業にどのようなメリット・デメリットがあるか考える。(10分)</p> <p>① わたしたちが銀行に「預金」した場合のメリット・デメリットについて考え、ワークシート1.-②に記入させる。(1分30秒)</p>	<p>★生徒のイメージが湧きにくい場合は、いくつか具体的な例をあげ、考えさせる。</p> <p>★メリット・デメリットの両面から考えさせることで、複眼思考の視点をもたせる。</p>	    

時間	内容	教員の支援	教材・備考
<p>展開① 23分 続き</p>	<p>②何人かに発表させて共有し、スライドに沿って「預金」のメリット・デメリットを確認する。 ※預金のメリットについては、生徒用テキストブックP.6を参照、あるいは映像教材「預金」を視聴してもよい。</p> <p>③DVD制作販売会社から銀行が「貸出」をうける理由を考え、ワークシート1.-③に記入させる。(1分30秒)</p> <p>④何人かに発表させて共有し、スライドに沿って「貸出」のメリット・デメリットを確認する。</p> <p>2)DVD制作販売会社が銀行から「貸出」をうけた場合、また、うけなかった場合、DVD制作会社にかかわる企業や個人にどのような影響があるか考える。(8分)</p> <div data-bbox="279 741 1013 913" style="background-color: #e0f2f1; padding: 5px;"> <p>ワーク ① グループディスカッション</p> <p>DVD制作販売会社が銀行から「貸出」をうけたとき、かかわる会社や仕事の人にどのような影響があるか、また、貸出をうけなかったらどのような影響があるか、話し合う。</p> </div> <div data-bbox="279 943 1013 1032" style="background-color: #ffe0b2; padding: 5px;"> <p>ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DVD制作販売会社にかかわる会社や仕事の人を特定させる。 ・「貸出」されない場合の影響を考えることで、お金が社会に流れることの重要性を意識させる。 </div> <p>①話し合った内容を、ワークシート1.-④に記入させる。</p> <p>②いくつかのグループの意見を発表させ、クラス全体で共有し、スライドに沿って「貸出」の影響を確認する。</p> <p>③スライドに沿って「預金」「貸出」によるお金の流れの影響についてまとめる。</p> <div data-bbox="279 1285 1013 1375" style="background-color: #ffe0b2; padding: 5px;"> <p>ポイント</p> <p>銀行による「貸出」が行われることで、「貸出」を直接うける会社だけではなく、その会社にかかわるほかの多くの会社や個人に、さまざまなメリットがもたらされることに気づかせ、社会にお金が流れることの重要性をおさえる。</p> </div>	<p>★会社や人を特定させる際、ワークシート1-①で考えたものやパワーポイント内(スライド13)で提示した関係者からグループとして2つ選ばせる。</p> <p>★「貸出」をうけた場合の影響が、貸出をうけなかった場合にはどうなると思うか、推論して考えるよう促す。</p>	
<p>展開② 21分</p>	<p>5.「預金」「貸出」を通じて社会にお金が流れることでどのようなことが実現できるか考える</p> <p>1)銀行が企業にお金を貸し出すことで、企業が実現できることについて考える。(10分)</p> <div data-bbox="279 1659 1013 1794" style="background-color: #e0f2f1; padding: 5px;"> <p>ワーク ② グループプレスト</p> <p>銀行から「貸出」されたお金により、企業がどのようなことを実現できるか考える。</p> </div> <p>①銀行から「貸出」されたお金によって、それぞれの会社で実現できることを考えさせ、ワークシート1.-⑤に記入させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> -① 宇宙開発にかかわる会社 -② 住宅を開発・販売している会社 -③ ロボット開発にかかわる会社 <p>※授業の時間に余裕がある場合は公民[生産と労働]にかかわる単元の学習と連動させ、社会には大企業・中小企業などさまざまな規模や業種の企業があることを伝え、他企業のケースについても考えさせる。</p>		

時間	内容	教員の支援	教材・備考
展開② 21分 続き	<p>②いくつかのグループの意見を発表させ、クラス全体で共有する。</p> <p>③銀行からの「貸出」によって実現できることについてまとめる。</p> <p>ポイント 銀行による「貸出」が行われることで、社会を変えるような新しい技術開発などが可能になり、より豊かな社会の創造や発展につながることをおさえる。</p> <p>④銀行には資金仲介という役割(特有の機能)があることを確認する。</p> <p>※ 資金仲介: 預かったお金を、資金を必要とする人に貸し出す「お金の橋渡し(=仲介)」をする銀行の重要な機能。</p> <p>2) 銀行の資金仲介によって、社会全体にもたらされるメリットについて考える。(11分)</p> <p>ワーク 3 グループディスカッション 銀行の資金仲介によって社会全体にどのようなメリットがあるかをグループで考える。</p> <p>①グループで話し合ったことをまとめ、ワークシート2.に記入させる。</p> <p>②いくつかのグループに意見を発表させ、クラス全体で共有し、ポイントを確認する。</p> <p>ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 銀行の「貸出」は、直接お金を貸し出した企業や個人だけでなく、関連する企業や個人にもさまざまな影響を与え、社会全体の経済活動を活発化する。 銀行が「貸出」を行うことで、今は実現できていない新しい技術やさまざまな製品の開発ができるようになり、より豊かな社会の創造につながる。 	<p>★お金を借りる行為はデメリットだけでなく、より豊かな社会の創造や発展につながることを伝える。</p> <p>★今までの授業内容と関連づけて考えるよう促す。</p>	    
まとめ 3分	<p>6. 授業をふりかえる</p> <p>●生徒用テキストブックP.10「社会の中での銀行の役割」を参照させ、スライドに沿ってポイントをまとめる。</p> <p>ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 今日の授業では1つの企業から関連する会社や人について考えたが、銀行は、国や自治体にもみんなからの「預金」を「貸出」している。 銀行が、資金を必要とする企業や個人、国・自治体にお金を仲立ちすることで、経済活動が活発化し、暮らしの充実や社会の発展につながっている。 以上のことを通じて、銀行特有の機能である資金仲介を行い、豊かな社会づくりにかかわっている。 		

1. 銀行がお金を貸し出すことで、どのような影響があるのだろうか

みんなが
預金することで...



① 貸出をうけたDVD制作販売会社がDVDを制作し、DVDを届けるために、ほかにどのような会社や仕事の人がかかわっているのだろうか。

(例) カメラマン

② あなたが銀行にお金を預けると、どのようなメリット、デメリットがあるのだろうか。

あなたにとって	メリット(良い点)	デメリット(悪い点)

③ DVD制作販売会社が銀行から貸出をうける理由を考えよう。

DVD制作販売会社にとって	希望する理由	希望しない理由

④ 「DVD制作販売会社にかかわる会社や仕事の人」にとって、「DVD制作販売会社」が銀行から貸出をうけた場合と、銀行から貸出がうけられなかった場合はどのような影響があるのだろうか。

DVD制作販売会社にかかわる その他の企業・個人にとって	企業/個人		にとって
	貸出をうけたときの影響	貸出をうけなかったときの影響	

⑤ 銀行が企業にお金を貸し出すことで、どのようなことが実現できるのだろうか。

(会社が実現できると思うこと)

※ 銀行の役割(機能)
資金仲介機能...預かったお金を、お金を必要とする人や会社に貸し出す
「お金の橋渡し(=仲介)」をする銀行の重要な機能。

学習のねらい

- ・融資(貸出)における「信用」とは何か、資金を借りる企業と貸す銀行の立場に立って考える。
- ・融資(貸出)において「信用」がなぜ大切かについて知り、金融のしくみや銀行の役割(間接金融)について理解を深める。

ロールプレイングを通じて思考力・判断力・表現力(4つの視点で融資の可否について考える力)を育成する。

授業の概要(50分)

時間	学習内容とねらい	
導入 3分	<p>1. 銀行の貸出業務について確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・銀行には「貸出」業務があり、企業に融資していることを確認する。 ・融資では、返済できる会社であるという「信用」が大切であることを知る。 <p>2. 本授業のめあてを確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・融資(貸出)における「信用」とは具体的に何か、なぜそれが大切かについて、企業と銀行両方の立場に立って考えることを確認する。 	<p>進行スライドに沿って 授業進行が可能</p> 
展開① 21分	<p>3. 企業の立場から「信用」について考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業の立場で、融資をうけるためにどのようなことをアピールするかを考え、銀行にプレゼンテーションする内容を考える。 ・融資のポイントを理解する。……………▶  映像教材【信用が支える金融のしくみ ①本編】 <p>ワーク ① グループディスカッション <思考力・判断力> 融資をうけるために、企業は銀行に何をアピールするとよいだろう?</p>	<p>映像教材①本編で ワークのポイントを 確認</p> 
展開② 16分	<p>4. ロールプレイングを行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各グループの代表者が融資をうける企業の立場でプレゼンテーションを行い、それ以外は銀行の融資係としてプレゼンテーションを聞いて考える。 <p>ワーク ② ロールプレイング <思考力・判断力・表現力> 企業: 銀行から融資をうけるためのプレゼンテーションをしよう! 銀行: どの企業に融資したいか、プレゼンテーションを聞いて考えよう!</p>	<p>映像教材②解説編で 授業のねらいを しっかり理解</p> 
まとめ 10分	<p>5. 「信用」の大切さについて理解を深める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業をふりかえり、映像を視聴して社会における「信用」の大切さと銀行の役割 について確認する。 <p>……………▶  映像教材【信用が支える金融のしくみ ②解説編】</p>	

教材一覧

教材	保存先
進行スライド(20枚)	CD-ROM内
ワークシート ※生徒数分を拡大印刷してお使いください。	ティーチャーズガイドP.29 / CD-ROM内
映像教材「信用が支える金融のしくみ」①本編 ②解説編	CD-ROM内

ワークショップ② 融資における信用と銀行の役割 ～企業と銀行の立場で考える～

年 組

1. 企業と銀行両方の立場から「信用」「成長性」について考えよう

- 担当する会社の情報を讀もう。
- 自由な発想で成長戦略を考え、「成長性」の空欄を埋めよう。

企業概要	事業内容(公共性)	返済能力(安全性)	成長性	経営者の考え方
A社 業界最大手のゲームソフト販売メーカー ・創業:50年 ・従業員数:2,000人 ・昨年度利益:288億円 ・業界最大手として銀行との付き合いが長い	子どもから大人まで全世代向けのゲームソフトを開発・販売。また、家庭用ゲーム機からゲームセンターでの業務用ゲーム機を開発など、ゲームに関して総合的に業界をリード。学習用ゲームソフトの開発により、シェアをさらに拡大している。	事業や資金の計画が安当か、どのくらい返す期間で返せるのか、資産はあるのか a 希望額: 250億円の融資を希望 b 目的: 海外のライバル企業を買収する 資産: ビル及び土地	成長するための戦略、将来売上や利益を上げられる可能性があるのか、市場規模やシェアはどのくらいなのか 海外のライバル企業の買収により [自由記述] 双方の技術や販売網を融合することで、新しく設備を整えたり、販売網を開拓することなくすぐに営業活動ができ、短期間で利益を上げることができるようになります。	銀行の視点 会社の経営理念、経営者の熱意はどうか ゲームが普及していない国・地域にもゲームがもたらす楽しさと夢を届け希望を与えたい。
B社 中堅のゲームソフト販売メーカー ・創業:25年 ・従業員数:400人 ・昨年度利益:1.4億円 ・海外での人気ソフトを多数保有	主に家庭用ゲームソフトを開発・販売。人気ゲームの関連商品の企画販売など、ゲームコンテンツを多角的に展開し、固定ファンを獲得。スマートフォンの増加に伴い、スマホ向けゲームの開発を予定している。	a 希望額: 30億円の融資を希望 b 目的: スマホゲームの開発に着手する 資産: 人気ソフト、キャラクターの特許	スマホ向けゲームの開発により [自由記述] もともと人気のあるソフトを多数持っているため、利用者が一定数見込めるとともに、新規顧客確保にもつながり、安定した利益確保ができるようになります。	ゲームのキャラクターや音楽など非日常の世界観をまるごと創造・提供することで、世界中の人々に感動を与えたい。
C社 ベンチャラーのスマホアプリ開発メーカー ・創業:1年未満 ・従業員数:3人 ・昨年度利益:実績なし(創業1年未満のため) ・開発アプリが世界優秀アプリに選ば	スマホで利用できる、全世界言語に対応した翻訳アプリを開発。翻訳の精度とスピードを大きく改善することで、旅行やビジネス現場などでの新しいニーズに対応している。	a 希望額: 1億円の融資を希望 b 目的: 開発したアプリを宣伝・販売する 資産: なし	開発アプリの世界での宣伝・販売により [自由記述] 世界各国の企業に働きかけることができる。また、オリンピックの選手村の公式ツールとしての採用を交渉中であり、この実績により知名度を高め、利益の確保ができるようになります。	国境を超えるコミュニケーションを生み出すことで、言葉が通じないジレンマを解決し、世界平和に貢献したい。

3. 上の表で銀行へのアピールに使えるような箇所に線を引いて、プレゼンテーションの原稿を考えよう。

A社 ●当社では**⑥** [目的] 海外のライバル企業を買収するために、
 a [希望額] 250 億円の融資を必要としています。 ● ③ (発表時は③で作成した文章を讀み上げる)
 ●ほかにアピールポイントは 新しく設備を整えたり、販売網を開拓したりすることなくすぐに営業活動ができ、
 短期間で利益をあげることができまます。また、50年間業務を拡大し続けてきた実績やそれにとともう
 資産があり、万が一短期で利益を上げられない時でも、返済には問題は無いこと
 ●ぜひ当社への融資をお願いします。

3. 今日の授業をふりかえろう

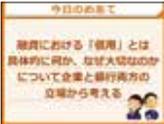
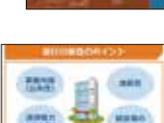
今日の授業をふりかえり、わかったことや気づいたことを記入しよう。

2. 銀行の融資係としての会社に融資する・しないかを決めよう

会社	融資判断	理由
A (1班) 社	する <input checked="" type="radio"/>	記入例) ライバル会社を買収すれば、外国にも販売できるソフトの種類も利益も増えそうだから。
C (3班) 社	する <input checked="" type="radio"/>	記入例) 実績がないので、返済してもらえなさそうだから不安だ。
社	する <input type="radio"/>	
社	する <input type="radio"/>	
社	する <input type="radio"/>	

※A社、B社、C社それぞれ代表者に発表させる。発表を聞く他の生徒には、銀行の融資係として、融資をしたい会社、見送る会社を判断させ、理由を書かせる。自分の属したグループにこだわらなくてよい。

生徒用ワークシートは拡大コピー、またはCD-ROM内のデータを印刷してご利用ください。

時間	内容	教員の支援	教材・備考
<p>導入 3分</p>	<p>1. 銀行の貸出業務について確認する</p> <p>1) 銀行には「貸出」業務があり、企業に融資していることを確認する。</p> <p>① スライドに沿って、銀行はお金を必要とする個人や企業にお金を「貸出」していることを確認する。</p> <p>② 銀行からの「貸出」によって、企業は新しい商品やサービス提供できるようになることを確認し、個人や企業に資金を貸出することを「融資」と呼ぶことを伝える。</p> <p>2) 融資では、返済できる会社であるという「信用」が大切であることを知る。</p> <p>① 自分が会社の経営者だとしたら融資をうけるために何をアピールするかを問いかけ、何人かの生徒に発表させる。</p> <p>予測される生徒の声</p> <p>▶ 利益(売上)、良い商品、サービス など</p> <p>② 融資では、お金を本当に返済できる会社であるという「信用」が最も大切であることを伝え、ポイントをおさえる。</p> <p>ポイント 銀行が貸し出すお金はたくさんの人から預かっているお金「預金」が元になっているので、必ず返済(信用)できる相手かどうかを大切にしていることをおさえる。</p> <p>2. 本授業のめあてを確認する</p> <p>1) 融資「貸出」における「信用」とは具体的に何か、なぜそれが大切かについて、企業と銀行両方の立場に立って考えることを確認する。</p>	<p>★ 学生が企業の立場に立って考えることは難しいため具体例を提示しながら生徒の意見を引き出す。</p>	     
<p>展開① 21分</p>	<p>3. 企業の立場から「信用」について考える</p> <p>1) 企業の立場で、融資をうけるためにどのようなことをアピールするかを考える。(6分)</p> <p>① 銀行が企業に「信用」があるかどうかを決めるときに、いくつかのポイントを中心に審査していることを伝え、映像を再生する。</p> <p> 映像教材【信用を支える金融のしくみ ①本編】(3分33秒)</p> <p>② スライドに沿って審査のポイントをふりかえり、ポイントをおさえる。</p> <p>ポイント 銀行がこれらのポイントを審査するのは、その企業が将来利益を上げて、借りたお金を本当に返済できるかどうか注目していることをおさえる。</p> <p>2) 企業の立場で、融資をうけるために銀行にプレゼンテーションする内容を考える。(13分)</p> <p>ワーク ① グループディスカッション 融資をうけるために銀行に何をアピールするとよいか考え、意見をまとめて、プレゼンテーションの内容を作成する。</p> <p>① クラスを6グループに分け、2グループずつそれぞれA社・B社・C社のいずれかを割り当てる。(2分) ※6グループに分けることが難しい場合は、9グループなど各企業を担当するグループが同数になるように調整する。(1グループ4人程度を想定)</p> <p>② グループに分かれ担当する会社の情報を読ませる。(1分)</p> <p>③ 自由な発想で成長戦略を考え ワークシート1.-②「成長性」に記入させる。</p> <p>④ 銀行へのアピールに使える箇所を線で引いてプレゼンテーションの原稿を考えさせ ワークシート1.-③に記入させる。(③④で10分)</p>	<p>★ プレゼンテーションに正解・不正解はないことを伝え、審査項目と関連づけて、何をアピールすると「信用」してもらえるか考えるよう促す。</p> <p>★ 「成長性」については自由に発想してよいことを伝える。</p> <p>★ ワークシート1.-③のプレゼンテーション原稿を考える際、10分のうち生徒にはまず7分で考えるよう伝え時間が来た後、残り3分を与えることで意見がまとまりやすい。</p>	    

時間	内容	教員の支援	教材・備考
展開① 21分 続き	<p>3) 銀行の融資係として、融資する・しないを判断するポイントを確認する。(2分)</p> <p>① 次のロールプレイングでプレゼンテーションをする人以外は銀行の融資係になることを伝える。</p> <p>② 銀行の融資係として融資する・しないを決めるため、企業の「事業内容」「返済能力」「成長性」「経営者の考え方」の4つのポイントを意識しながら聞くことを伝える。</p>		
展開② 16分	<p>4. ロールプレイングを行う</p> <p>1) 各グループの代表者が融資をうける企業の立場でプレゼンテーションを行い、それ以外は銀行の融資係としてプレゼンテーションを聞いて考える。(16分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ワーク ② ロールプレイング</p> <p>各グループの代表者が融資をうけるためのプレゼンテーションを行い、それ以外は銀行の融資係としてプレゼンテーションを聞き、融資したい会社を考える。</p> </div> <p>ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロールプレイングに緊張感をもたせるため、企業は融資をうけられないと事業が拡大できないだけでなく、競合他社との競争に負けてしまうなど将来の経営が切迫した状況になる可能性があることを伝える。 ・複数グループのプレゼンテーションを比較して聞くことにより、着目した視点の違いや必要な情報の過不足などに気づかせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><発表例></p> <ul style="list-style-type: none"> ● A社、B社、C社それぞれ代表して1班ずつ発表する(計3班)。 ※発表はそれぞれ1分程度にする ● 各社(各班)の発表毎にワークシート2に記入し融資をする・しないを決め理由も考える。 ※記入はそれぞれ1分程度にする ● 各社(各班)の発表に対する感想(融資をする、しないとその理由)を全体で共有する。 ※全体共有とまとめは10分程度にする <p>→各社に対して「融資をする、しない」についてクラス全体で挙手させる。挙手させた後、数人の生徒に理由を聞く。</p> <p>→発表をしなかった班で全体で共有した方が良い意見は教員から全体に共有し生徒に気づきを促す。</p> </div>	<p>★実際の場面では、融資をうける・うけないは企業の経営に大きく影響するため、企業側も銀行側も真剣に臨むよう促し、緊張感をもたせる。</p>	  
まとめ 10分	<p>5. 「信用」の大切さについて理解を深める</p> <p>1) 授業をふりかえり、映像を視聴して社会における「信用」の大切さと銀行の役割について確認する。</p> <p>① 「融資したい会社」「融資を見送った会社」を決めた判断基準が銀行の審査にあたり、融資において「信用がある」とは「本当に返済してくれると判断できること」であったことを確認する。</p> <p>② 銀行はその「信用」を複数の視点で審査しているが、なぜ「信用」が大切なのかを問いかけ、映像を再生する。</p> <p> 映像教材【信用を支える金融のしくみ ②解説編】(1分47秒)</p> <p>③ 映像をふりかえり、「信用」に基づく金融のしくみと銀行の役割について以下のポイントをおさえる。</p> <p>ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「信用」があるから、人々は銀行にお金を預け、銀行はお金を必要とする個人や企業にお金を貸し、お金を貸した企業が社会に必要な商品やサービスが提供したり、個人が必要なモノを購入したりできる。 ・相手に信用してもらおうと思ったら、ふだんからの自分の姿勢や行動が大切で、それは学生の今でも社会に出てからも変わらない。 ・このような「信用」に基づいて銀行が役割を果たすことで、新しい商品やさまざまなサービスの提供など豊かな社会の実現につながっている。 <p>2) 本授業をふりかえり、わかったことや気づいたことをワークシート3に記入する。</p>	<p>★映像内、本の貸し借りの事例に触れながら、学校では友達との「教科書」の貸し借りでそういったことがなかったかふりかえさせることにより、身近に「信用」について考えさせることができる。</p> <p>★スライド20の際に間接金融と直接金融に触れながらまとめを行うことで、これまで学んだ知識を深めながら「信用」についておさえることができる。</p>	   

■ 映像教材「信用が支える金融のしくみ」

アドバンスプログラム ワークショップ②でご活用いただく映像です。銀行が、個人や企業へ融資するかしないかを判断する「信用」について理解を深められます。本編は、ロールプレイングへの導入とまとめに使える構成になっています。

※授業の内容・目的に合わせてご活用ください。



① 本編: 3分33秒

銀行が融資を行う審査の4つの視点「公共性」「返済能力」「成長性」「経営者の考え方」から、「信用」を見極めていること解説します。



② 解説編: 1分47秒

企業や銀行にとって、「信用」がもっとも大切であるということ、「信用」に基づいて銀行が融資することによって、社会が豊かになっていることについて、解説します。

<CD-ROM>



<http://www.zenginkyo.or.jp/>

2016年4月発行 改訂新版

©一般社団法人全国銀行協会 金融リテラシー推進室
無断での引用、転載はご遠慮ください。